

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【公表番号】特表2014-511229(P2014-511229A)
 【公表日】平成26年5月15日 (2014.5.15)
 【年通号数】公開・登録公報2014-025
 【出願番号】特願2013-553627(P2013-553627)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/52 (2006.01)

A 6 1 F 2/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/52

A 6 1 F 2/12

【手続補正書】
 【提出日】平成26年4月2日 (2014.4.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

患者の身体の 1 つの領域における患者の軟組織を膨張した状態に維持するための装置において、

第 1 の提供モードと、第 2 の保持モードとの間で移行するように構成された受動的なステントを備え、該受動的なステントは、前記第 1 の提供モードにおいて患者の身体領域の形状に従い、前記第 2 の保持モードにおいては前記患者の身体領域は前記受動的なステントの形状に従い、前記受動的なステントは、第 2 の保持モードにおいて、患者の軟組織をさらに膨張させることなく該患者の軟組織を膨張した状態に維持することを特徴とする、装置。

【請求項 2】

前記軟組織は、乳房組織を含み、前記患者の身体領域は、乳房を含む、請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

前記受動的なステントは、硬化性ポリマから形成された層を有しており、硬化性の前記層は、硬化すると柔軟性が低下するように構成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 4】

前記受動的なステントは、空気に曝されたときに前記第 1 の提供モードと前記第 2 の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 5】

前記受動的なステントは、水に曝されたときに前記第 1 の提供モードと前記第 2 の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 6】

前記受動的なステントは、温度に曝されたときに前記第 1 の提供モードと前記第 2 の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 7】

前記受動的なステントは、UV 放射に曝されたときに前記第 1 の提供モードと前記第 2 の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 8】

前記受動的なステントは、触媒に曝されたときに前記第 1 の提供モードと前記第 2 の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項 1 記載の装置。

【請求項 9】

前記受動的なステントは、前記患者の身体領域と接触するように構成された少なくとも 1 つの表面上の接着剤である、請求項 1 記載の装置。

【請求項 10】

前記受動的なステントは、前記患者の身体領域と接触しかつ前記受動的なステントを前記患者の身体領域に固定するように構成された接着剤層を含む、請求項 1 記載の装置。

【請求項 11】

硬化性の層と、圧縮層とをさらに備え、該圧縮層は、変形可能でありかつ前記接着剤層と前記硬化性の層との間に配置されている、請求項 10 記載の装置。

【請求項 12】

前記接着剤層は、生体適合性である、請求項 10 記載の装置。

【請求項 13】

前記受動的なステントは、硬化性の層と、中間層とを有し、該中間層は、前記硬化性の層と前記接着剤層とを結合している、請求項 10 記載の装置。

【請求項 14】

患者の乳房内の患者の軟組織を膨張した状態に維持するための受動的なステントにおいて、

患者の乳房に接触しかつ前記受動的なステントを患者の乳房に少なくとも部分的に付着させるように構成された接着剤層と、

構造層と、を備え、

前記受動的なステントは、第 1 の状態から第 2 の状態へ移行するように構成されており、前記第 2 の状態は前記第 1 の状態よりも展性でなく、

前記受動的なステントは、前記第 2 の状態において、前記患者の乳房組織をさらに膨張させることなく前記患者の乳房組織を膨張した状態に維持するように構成されていることを特徴とする、受動的なステント。

【請求項 15】

前記構造層は、前記受動的なステントが前記第 1 の状態にあるときに硬化せず、前記受動的なステントが前記第 2 の状態にあるときに硬化させられる硬化性ポリマから形成されている、請求項 14 記載の受動的なステント。

【請求項 16】

前記接着剤層と前記構造層との間に配置された中間層をさらに備え、該中間層は、前記接着剤層と前記構造層とを結合している、請求項 15 記載の受動的なステント。

【請求項 17】

取り外されたときに前記接着剤層を露出させ、取り付けられたときに前記接着剤層を覆うように構成された取外し可能なバッキングをさらに備える、請求項 14 記載の受動的なステント。

【請求項 18】

前記接着剤層と前記構造層との間に配置された圧縮可能層をさらに備える、請求項 14 記載の受動的なステント。

【請求項 19】

前記接着剤層と前記構造層との間に配置された通気性層をさらに備える、請求項 14 記載の受動的なステント。

【請求項 20】

患者の拡張された身体領域を膨張した状態に保持するための受動的なステントにおいて、

該受動的なステントを患者の拡張された身体領域に取り付けるように構成された第 1 の層と、

刺激に曝されたときに第 1 の状態と第 2 の状態との間で移行するように構成された第 1 2 の層と、を備え、該第 2 の層は、前記第 2 の状態においてより柔軟ではなく、前記受動的なステントは、前記第 2 の層が前記第 1 の状態にあるときには患者の拡張させられた身体領域に実質的に従い、前記第 2 の層が前記第 2 の状態にあるときには前記患者の身体領域を膨張した状態に維持するように構成されていることを特徴とする、受動的なステント

。

【請求項 2 1】

前記身体領域は、患者の乳房を含む、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 2】

前記第 1 の層は、接着剤層である、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 3】

前記第 2 の層は、硬化性ポリマから形成されており、前記第 2 の層は、前記第 1 の状態から前記第 2 の状態へ移行するときに柔軟性が低下する、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 4】

前記刺激は、空気である、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 5】

前記刺激は、水である、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 6】

前記刺激は、温度である、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 7】

前記刺激は、UV 放射である、請求項 2 0 記載の受動的なステント。

【請求項 2 8】

前記刺激は、触媒である、請求項 2 0 記載の受動的なステント。